

+.....+
【ケアプロ通信vol.104】
5月度ニュース:小児看護・介護を運営するエイチ・ユウ・ジー社を事業承継
+.....+

いつも大変お世話になっております。
ケアプロ広報担当です。

早くも梅雨のようなお天気ですね。
みなさまお変わりなくお過ごしでしょうか。

いつもならば連休はどこかに出掛けようと計画を立てますが、
今年のゴールデンウィークも昨年に続き、家で過ごす日々となりました。

家で過ごす休日だからこそ、家族との時間をより大切に過ごせた
という方も多いのではないのでしょうか。

”Stay Home”を”Enjoy Home”へと言われているようです。
家でゆっくり過ごすのも貴重な過ごし方だったかと、思い返せる日が来ることを信じて
日々の暮らし、時間を大切にしていきたいと思います。

それでは5月度のニュースをお届けいたします。



+.....I N D E X.....+

- 【1】代表 川添高志
「小児看護・介護を運営するエイチ・ユウ・ジー社を事業承継」
- 【2】 予防医療事業部
「さんぎょうい株式会社様のセミナーにケアプロスタッフが登壇しました」
- 【3】 在宅医療事業部
「事業継続計画(BCP)に関する研究事業に取り組みました！」
- 【4】 交通医療事業部
 - 1) 視覚障がい者の外出支援に関する提携
 - 2) 日本ブラインドサッカー協会のアライアンスパートナーになりました

+.....+

+…………代表 川添 高志からのメッセージ……………+

「小児看護・介護を運営するエイチ・ユウ・ジー社を事業承継」

この度、ケアプロは、株式会社エイチ・ユウ・ジーの全株式を取得しました。

エイチ・ユウ・ジー社は、看護師や介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の小児分野のスペシャリスト集団です。

今後、ケアプロとの連携により、これまで以上にサービスを拡充し、病児や障害児・者、ご家族のニーズに応じていきます。

東京都杉並区で小児専門の訪問看護・介護 HUG(はぐ)を運営する
エイチ・ユウ・ジーをケアプロが事業承継



詳しくは、[代表ブログ](#)をご覧ください。

+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

「さんぎょうい株式会社様のセミナーにケアプロスタッフが登壇しました」

この度4月13日に、さんぎょうい株式会社様が主催するセミナーに、
弊社予防医療事業部看護師の山田が登壇しました。

主催者であるさんぎょうい株式会社様は、
産業医業務を中心として労働安全衛生活動を、それぞれの企業の実態に即して
フルサポートする事業を行っている会社様です。
企業サポートの一貫として安全衛生・健康経営のセミナーを定期的を開催されており、
今回弊社が一部セミナーを担当しました。

「在宅勤務による身体活動量の変化について～メッツ指数を用いて計算してみましょう～」
と題し、在宅勤務などによる消費カロリーの変化について、実際にメッツ指数を用いて
計算しながら理解を深め、生活習慣の改善につながりやすい身近な運動方法や
消費カロリーを増やすコツをお伝えしました。
セミナーには23社もの企業様が参加していただき、
講義後には受講された方より沢山のご質問をいただきました。
その中で、「今までメッツの計算が面倒そうだと思っていたのですが、よく理解できました！」
というお声をいただくこともできました。

ケアプロでは、今後も皆さまがケアプロ健康サイクルを回せるようなサービスを、
様々なニーズに合わせて提供していきます。



▲オンラインでセミナーを行う看護師 山田

+……………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

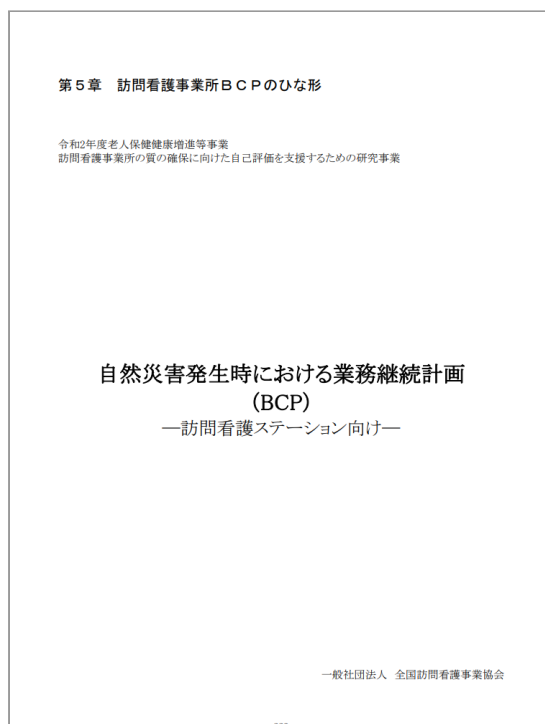
「事業継続計画(BCP)に関する研究事業に取り組みました！」

「訪問看護事業所の質の確保に向けた自己評価を支援するための研究事業」の一環として、
訪問看護ステーションにおける、BCP雛形を作成しました！

下記リンク先報告書の、223ページ目の
「第5章 訪問看護事業所BCPのひな形」へ記載されています。
<https://www.zenhokan.or.jp/wp-content/uploads/r2-1-1.pdf>
是非参考にして下さいませ！

また、訪問看護事業協会の
令和2年度全国訪問看護事業協会研究助成(一般)にて、
「訪問看護事業所の災害時における事業継続計画(BCP)の実態調査」
についての調査研究も行いました！
こちらは、2017年から取り組んできたプロジェクト活動の一環で、
先日報告書が完成しましたので近日公開予定となっています。
業界のBCPに関する課題も見え、今後のアクションに繋がりそうです。

訪問看護ステーションにおけるBCP策定は、R3年度介護報酬改定でも
言及されており、全国的な注目も高まってきています。
ケアプロでは、2018年にホームケア防災ラボ(在宅ケア防災研究会)を
発会し、地域の防災活動の重要性について取り組んで来ましたが、
今回の研究結果を踏まえつつ、業界でBCPが普及していけるような
仕組みや体制づくりにも取り組んでいきたいと思えます。



+……………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ……………+

1) 視覚障がい者の外出支援に関する提携

日本ブラインドサッカー協会様が運営する「視覚障がい者ならどなたでも！おたすけ電話相談窓口」と連携し、外出支援を行うことになりました。

新型コロナウイルス感染症により、ソーシャルディスタンスを保つため、視覚障がい者にとっては、行動しにくい情勢です。

早速、ブラインドサッカーの練習の付き添いや学業に必要なPC設定や買物支援のご依頼がありました。

日本ブラインドサッカー協会様のビジョンである「視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会の実現」に向けて、連携していけたらと思っています。

※詳細は[こちら](#)

2) 日本ブラインドサッカー協会のアライアンスパートナーになりました

日本ブラインドサッカー協会は、ブラインドサッカー及びロービジョンフットサルを統括する中央競技団体です。

日本国内はもちろん、国際的な大会の運営もしており、これまで、サッカーナースでは全国各地において、救護運営や感染対策を行わせていただきました。

新型コロナウイルス感染症への対策を含めて、これまで以上に、安全・安心の取り組みを進めていきます。

※詳細は[こちら](#)